

代表質問

主な質問と答弁

放課後児童クラブ

要支援児童の受け入れ体制を充実 施設面の整備等に取り組む

(民主クラブ)

質問 放課後児童クラブにおける質の確保についての今後の取り組みと、要支援児童の受け入れ試行に対する総括及び今後の展開について聞きたい。

人材育成を図っている。要支援児童の受け入れについては、平成27年4月から身体に障がいのある児童の受け入れを試行的に行っている。総括としては、施設面のバリアフリーが条件



放課後児童クラブの質の確保及び向上に努める

答弁 質の確保の取り組みとしては、各クラブの指導員は都道府県が行う認定資格研修を順次受講しているほか、みらい創造財団による研修受講後に、各クラブにおいて研修内容を共有し、クラブ全体の質の確保及び向上に努めている。また、大規模クラブにおいてベテラン指導員が他の指導員を育てる環境をつくるなどの

定期点検等を実施 都市基盤の老朽化対策 長寿命化計画を進める

(藤沢市公明党)

質問 橋梁やトンネルなどの都市基盤の維持管理については、国の方針変更等の環境変化に応じて老朽化対策を行ってきたが、これまでの取り組みや今後の管理方針について聞きたい。

答弁 橋梁の老朽化対策については、平成21年度から市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度の道路法改正に伴い、26年度からは100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。トンネルについては、現在、藤沢市トンネル長寿命化修繕計画の策定を進めており、今後50年で大規模な改修を要しないよう、予防保全型の対策を実施し、健全な状態に保つ計画として

市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度の道路法改正に伴い、26年度からは100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。トンネルについては、現在、藤沢市トンネル長寿命化修繕計画の策定を進めており、今後50年で大規模な改修を要しないよう、予防保全型の対策を実施し、健全な状態に保つ計画として

今後の取り組みについては、29年度からベドストリアンデッキのリニューアル工事に着手するとともに、引き続き南北自由通路拡幅整備や駅南側のまちづくりに向け、鉄道事業者などの関係事業者と検討及び協議を行う。さらに、整備後の町のにぎわいや魅力づくり、質の高い維持管理等に向け、官民連携によるエリアマネ

質問 平成29年度に藤沢駅北口の再整備が本格化するが、ホテル誘致や南北自由通路の活用など、本市の都市拠点としてのにぎわいを再生するための今後の取り組みの方向性について聞きたい。

答弁 平成29年度に藤沢駅北口の再整備が本格化するが、ホテル誘致や南北自由通路の活用など、本市の都市拠点としてのにぎわいを再生するための今後の取り組みの方向性について聞きたい。

外国人観光誘客 受け入れ環境を整備

(ふじさわ新政策)

質問 オリピックを契機とした本市と他国の競技団体とのパートナーシップ構築において、架け橋となる市民等との関係づくりについての考え方を聞きたい。

答弁 オリピックにおける市民との協力関係づくりについては、既に諸外国との関係を築かれている方の



多言語観光ウェブサイト「Discover FUJISAWA」

との新たな協力関係を構築し、マルチパートナーシップの推進を図っていく。本市の外国人観光誘客については、訪日外客数が増加しているアジア諸国を中心に積極的に進めてきた。今後は東京オリピック等により増加が見込まれる欧米に向けた観光誘客も、積極的に進める必要がある。2020年以降に向けた観光振興については、外国人観光客が快適に過ごすことができるよう、観光案内所の機能強化、多言語化の整備促進、外国語ボランティアガイドの育成及び公衆トイレの整備などの受け入れ環境の整備を図るとともに、近隣市町や鉄道会社等との連携をさらに深めることで、積極的な外国人観光誘客に努めていく。

質問 待機児童の解消が求められる中、公立保育所に加える中で、公立保育所について、保育の質の確保や子育て支援機能としての機能が必要と考えるが、課題や今後の取り組みの方向性について聞きたい。

答弁 公立保育所は、これまで各園がそれぞれ特色を生かした保育や工夫を凝らした子育て支援、世代間

質問 近年の保育需要の急増に伴い、認可保育所や小規模保育事業等の整備、藤沢型認定保育施設制度の見直しなどを行っており、全学的な保育の質の底上げが重要となっている。このため、基幹保育所の一つであるしゅががはら保育園におけるしゅががはら保育園における、平成28年4月に子育て支援を専任とする保育士を2名配置し、小規模保育事業などの地域型保育事業への指導及び支援、子育て支援センターとの連携による地域における子育て支

質問 本市の農業は、都市農業の振興計画に基づき推進している。食の確保と安全のため、都市農業に対する支援策を積極的に進めたい。

答弁 本市の農業は、都市農業の振興計画に基づき推進している。食の確保と安全のため、都市農業に対する支援策を積極的に進めたい。



農業の安定的な継続と良好な都市環境の形成を目指す

質問 平成23年4月に明治中学校で防球ネット転倒事故が発生したが、その後も本質的な対処が行われていないと考える。再発防止のために適切な措置を行い、二度と同じ事故を繰り返さないよう取り組みを強化したい。

今後子どもたちの安全を第一に考え、防球ネットの使用については、当面は土のう等で一時的に固定すること、強風時は使用しないこと、強風時は使用しないこと、各学校に対し徹底し

質問 平成23年4月に明治中学校で防球ネット転倒事故が発生したが、その後も本質的な対処が行われていないと考える。再発防止のために適切な措置を行い、二度と同じ事故を繰り返さないよう取り組みを強化したい。

今後子どもたちの安全を第一に考え、防球ネットの使用については、当面は土のう等で一時的に固定すること、強風時は使用しないこと、各学校に対し徹底し